

平成 19 年 10 月 26 日

各 位

本社所在地 東京都港区赤坂八丁目 4 番 14 号  
 会 社 名 ブロードメディア株式会社  
 (コード番号: 4347)  
 代 表 者 代表取締役社長 橋 本 太 郎  
 問 合 せ 先 取 締 役 加 納 彰  
 管 理 本 部 長  
 電 話 番 号 03-6439-3983

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 5 月 1 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期中間業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

## 1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

【連結】

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 1 日発表)	6,500	450	450	250
今回修正予想(B)	7,004	203	176	△35
増減額 (B-A)	504	△247	△274	△285
増減率 (%)	8%	△55%	△61%	△114%
前中間期実績 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)	4,321	446	405	260

【個別】

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 1 日発表)	3,000	400	400	200
今回修正予想(B)	4,281	283	250	49
増減額 (B-A)	1,281	△117	△150	△151
増減率 (%)	43%	△29%	△38%	△76%
前中間期実績 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)	3,704	461	461	293

## 2. 修正の理由

売上高につきましては、ネットワーク営業部門の業績が好調に推移した結果、連結・個別共に平成19年5月1日発表の業績予想を上回る見込みとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、業績予想に対し連結・個別共に減益の見込みとなりました。個別業績予想に対する減益の主な要因は、Gクラスタサービスにおいて、売上が業績予想を下回り、約1億円損失が拡大したことです。これは、海外の事業者へライセンスを販売するビジネスモデルから、より主体的な取り組みへと方針を変更したことによるものです。また、連結業績予想に対する減益の主な要因は、個別業績予想の減益要因に加えて、子会社であるブロードメディア・スタジオ株式会社が配給した映画の観客動員数が、大都市以外で伸び悩み全体的に予想を下回ったこと、及び同作品にかかわる広告宣伝費を前倒して計上したことにより、約2億円の減益となったことです。

中間純利益につきましては、上述のとおり、営業利益及び経常利益が予想を下回ったことに加え、投資有価証券評価損を計上したため、連結・個別共に業績予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、今後のGクラスタサービスの展開策と併せて、10月31日に予定している中間決算発表の時点で、あらためて発表する予定です。

\*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

ブロードメディア株式会社 広報IR課 TEL. 03-6439-3983